

発電所敷地内断層(f-1断層)に関する追加調査を実施しています

発電所の敷地内断層については、現在、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査が進められています。

4月22日に開催された審査会合では、耐震重要施設直下のf-1断層やf-2断層の活動性評価等について審査が行われ、f-1断層について、既存のトレンチ^{*}の追加掘削等により、さらにデータの拡充を図ることが必要とのコメントを受けました。

このため、6月1日から当該トレンチの底面等をさらに掘削して、f-1断層の観察・分析等を行っています。

なお、調査結果については、今後の審査会合で説明していくこととしています。



f-1断層の調査を行う既存トレンチ

※トレンチ：地形や地質分布、断層の性状等を調査するための溝

国道338号沿道の清掃活動を実施しました

当発電所と協力会社で組織する「東通原子力発電所安全衛生推進協議会」は、5月16日、発電所周辺の国道338号沿道(約4km)の清掃活動を実施しました。

当日は、発電所員および協力会社社員の計52名が参加し、可燃ごみや空き缶など、約200kgのごみを回収しました。

同協議会では、今後も沿道清掃を通じて、地域の環境美化活動に取り組んでまいります。



発電所対策本部運営訓練を実施しました

当発電所は、5月31日、原子力災害発生時の対策本部運営訓練を実施しました。

今回の訓練は、地震の影響により全ての電源が喪失し、使用済燃料プールの冷却機能および注水機能が失われたとの想定で行いました。

当日は、発電所対策本部内での指揮・命令や情報共有、社内外への通報・連絡(模擬)、対応の長期化を想定した引き継ぎ要員への情報伝達などが行われ、対策本部が円滑に機能することを確認しました。

今後もさまざまな訓練を繰り返し、災害対応力の維持・向上に努めてまいります。

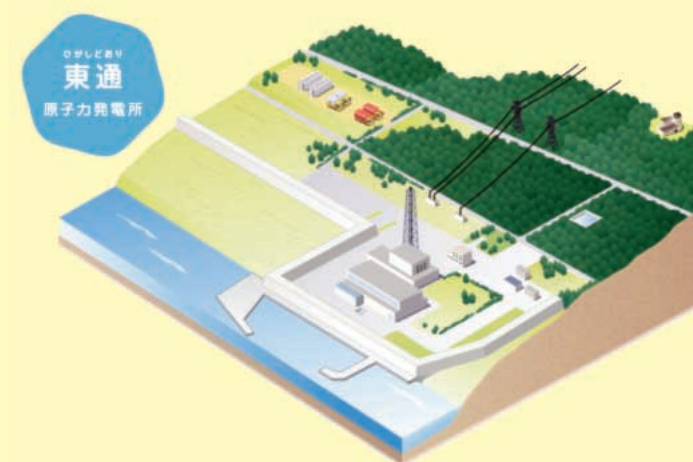


当社ホームページの「原子力情報」をリニューアルしました

当社は、原子力に関する情報をより分かりやすくお伝えするために、ホームページのリニューアルを実施しました。

東通原子力発電所の見学を疑似体験していただける「バーチャル見学」や、安全対策の実施状況等を動画で紹介するコーナーを新たに掲載しましたので、ぜひご覧ください。

今後も、分かりやすい情報発信に努めてまいります。



バーチャル見学 画面

詳しくは当社ホームページをご覧ください⇒

東北電力 原子力情報

検索

